NetWare Client 32 for Windows 95 1.0J インストール手順書

商標

NOVELL、NetWare、NetWireは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。

Envoy、GroupWise、 NDS、 NetWare Directry Services、 NetWare Application Launcher、NetWare Applica tion Manager、NetWare Clientは、米国 Novell, Inc.の米国における商標です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Win31、Windows、Windows NT、Windows 95 および Windows ロゴは、米国 Microsoft C orporation 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、このマニュアルに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商号、商標、または登録商標で す。

著作権

Copyright 1996 Novell Japan, Ltd. All rights reserved.

本書の一部または全部を無断で転載、複写、検索システムに保管、送出することは形態を問わず禁じます。

放棄条項

米国 Novell,Inc.およびノベル株式会社は本書の内容または使用に関して、また本書で取り上げる第三者の製 品のいずれに関しても、断言や保証を行うものではありません。米国 Novell,Inc.およびノベル株式会社は、 いつでも本書の内容を改訂し、その内容を変更する権利を留保し、そのような改訂や変更を何人にも、またい かなる企業にも通知の義務を負いません。本書中に明記される第三者の製品、また説明の対象とされる機器構 成を推奨するものではありません。 目次

はじめに

第1章 NetWare Client 32 for Windows 95インストール

1. インストール手順フローチャート 2. インストール手順 3. NetWare/IPクライアントのインストール

第2章 ログインと使用方法

ログイン方法
 NDS ツリーや NetWare サーバの検索
 ログインスクリプトの設定
 複数の NDS ツリーへの同時アクセス
 ドライブマッピング方法
 プリンタ設定

第3章 サーバ側のロングネームサポート

- 1. NetWare 4.1Jサーバ
- 2. NetWare 3.12Jサーバ

第4章 NetWare Application ManagerとNetWare Application Launcher

- 1. アプリケーションの登録ならびにユーザへの割り当て(NAM)
- 2. ユーザ毎にアプリケーションを割り当てる場合の設定(NAM)
- 3. アプリケーションの実行(NAL)

はじめに

本書はノベルが提供する Windows 95用 NetWareクライアントである¢NetWare Client 32 for Windows 95 £と、これに添付の¢NetWare Application Manager£についてのインストールおよび設定方法を記述したも のです。

⊄NetWare Client 32 for Windows 95£ を使用することで以下のようなメリットがあります。

- 1. NetWare 4.1J 環境で NDS (NetWare ディレクトリサービス)が利用可能になります。
- 2. Windows 95 のロングファイルネームがサーバに対して使用できるようになります。
- 3. NetWare 対応のクライアントアプリケーションが使用可能です。
- 4. 32 Bit 対応のため高速なアクセスが可能です。
- 5. Windows 画面上からログインやログアウト、ログインスクリプトの実行が可能です。

¢NetWare Application Manager£ を使用すると、アプリケーションを NDS に登録する事ができ、ユーザ がネットワーク上のアプリケーションを容易に起動する事ができるようになります。

注意事項

- 1. 本書の手順は [IBM PC/AT 互換機] を基に記述してあります。[NEC PC-9800シリーズ]をご使用の場合 は、フロッピーディスク,ハードディスク,CD-ROMのドライブマッピングなどの表記が異なることが ありますのでご注意ください。
- 2. ご使用になる環境によっては、本書の手順書どおりにインストールできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第1章 NetWare Client 32 for Windows 95インストール

1. インストール手順フローチャート



注意: インストールを開始する前に Windows 95の CD-ROM(または FD)をご用意ください。

2. インストール手順

Client 32のインストール環境として以下の方法があります。

A. ネットワーク設定がされていない Windows 95上に Client 32を新規インストール

B. NetWare VLMクライアントからのアップグレード C. Microsoft社の「NetWareネットワーククライアント」からのアップグレード

本手順書では「A」のインストール手順を説明します。「B、C」の環境に関しては本手順の「注意」欄を ご参考の上、進めてください。 2a. 「スタート」ボタンより「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択してください。

ファイル名を指う	定して実行	? ×
	実行したいアフリケーション名、または開きたいフォルダや ドキュメント名を入力してください。	
名前(<u>O</u>):	A:¥SETUP.EXE	•
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

次を参照して、適当なパスから「SETUP.EXE」を選択してください。

フロッピーディスクからインストールする場合(「SETUP1」フロッピーディスクをセットしてから):

[フロッピードライブ]:\SETUP.EXE

クライアントが IBM PC/AT互換機で CD-ROMからインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\DOSV\NIHONGO\SETUP.EXE

クライアントが NEC PC-9800シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\98\NIHONGO\SETUP.EXE

2b. 使用許諸契約画面の内容を承諾後、インストールメニューが表示されます。

NetWare Client 32 インストール 🛛 🔀
NetWare, Client 32 Installation
NetWare Client 32のインストールへようこそ
インストールプログラムはNetWare Client 32を自動的にインストールし、環境設定します。 インストールを始めるには、 [開始]をクリックしてください。 インストールを終了するには、 [キャンセル]をクリックしてください
マニュアルに記載されていない追加情報については、READMEファイルを表示してくださ い
□NDISドライバをODIIこ自動アッフグレード(U)
開始(S) キャンセル ヘルフ(H) READMEの表示(V)

[開始(S)>]をクリックしてください。ファイルコピーが自動的に開始されます。

注意: Microsoft社の「NetWareネットワーククライアント」などですでに NDISドライバをご使用の場合、 ODIドライバへのアップグレードが可能です。この場合、「NIDSドライバを ODIに自動アップグレ ード」の左側のチェックボックスをクリックして、チェックマークをつけてから、[開始(S)>] をクリックしてください。

NDIS(Network Driver Interface Specification)は、Microsoft社標準のLANドライバ仕様です。 ODI(Open DataLink Interface)は、Novell社標準のLANドライバ仕様です。

デバイスの選択	×
ハート・ウェアと一致する。 単学 しい。 モデルがわから はもットアップ ディスクに	ネットワーウ アダプタをクリックして、[0K] を押してくださ ないときは、[0K] を押してください。この一覧に あるファイルだけが表示されています。
製造元(M):	モデル(血):
B NCR	B Novell NE2000
🕮 Novel I	🗒 Novell NE2000 Plus
B Novell/Anthem	Novell NE2100
≣ ∰0licom	By Novell NE2-32
■DProteon ▼	■ Novell NE3200
	疗*ィスク使用(出)
	() キャンセル

使用する LAN ボードを選択してください。ここでは、「Novell NE2000 Plus」ボードを使用する場合の例 をっ説明します。

- a. 「製造元(M):」から [Novell]を選択します。
- b. 「モデル(D):」から[Novell NE2000 Plus]を選択後、[OK]をクリックします。
- 注意: [OK]をクリック後、ネットワーク上で現インストール中のクライアントを識別するために「コ ンピュータ名」,「ワークグループ」などを設定する画面が表示される場合があります。表示され た場合は、入力してください。
- 2d. LANドライバのプロパティが表示されます。

Novell NE2000 Plusのプロパティ		? ×
97-x		
	には、次のハードウェア設定が必	
設定の種類(<u>T</u>):	基本設定 0 👤	
割り込み番号(IRO) (<u>1</u>):	*3 *	
i/o ቆ*∽ኑ ፖኑ°レス@):	*300 - 31F ·	
メモリ アドレスの範囲(M):	C8000 - CBFFF	
#EPIは、現在のハードウェア設筑 *EPIは、ほかのハードウェアとの	ー Eを示します。 D競合を示します。	
	OKキャン	til 🛛

実装している LAN ボードの設定と一致しているかを確認してください。設定が正しければ[OK]をクリッ クしてください。

2e. Client 32のプロパティ設定を現段階で行うのかを聞いてきます。

NetWare Client 32の推奨プロパティ 🛛 🗙
NetWare 3.xサーバの環境設定では、優先サーバを設 定することをお勧めします
Netware 4.xサーバについては、優先ツリーとネームコ ンテキストを設定するか、優先サーバを設定することを お勧めします
これらのプロバティをここで設定しますか?
いいえ <u>№</u>

[はい(Y)]をクリックしてください。

- 参考: [いいえ(N)]を選択してもインストール完了前に、Windows 95を再起動せず「カスタマイズ」を 選択することによりプロパティ設定が可能です。
- 2f. 「Novell NetWare Client 32のプロパティ」が表示されます。

「Client 32」のタブが表示されます。

Novell NetWare Client 32のプロペティ 🤶 🔀		
Client 32 ログイン デフォルトキャプチャ 詳細設定		
優先サーハ ^{*(} S):	NOVELL4A	
優先ッリー(<u>T</u>):	NOVELL4A	
ネームコンテキスト(<u>C</u>):		
最初のネットワークドライブ(<u>F</u>):	F	
	OK キャンセル	

- a. バインダリサーバ環境をご使用になる場合は「優先サーバ」を指定してください。また NDS 環境をご使用になる場合は「優先ツリー」,「ネームコンテキスト」を指定してください。
- b. 「最初のネットワークドライブ」を指定してください。(デフォルトはFドライブ)
- 参考: 「優先サーバ」、「優先ツリー」、「ネームコンテキスト」、「最初のネットワークドライブ」 は、VLMクライアントの場合に「NET.CFG」ファイルの「DOS Requester」エントリ内に指定するパ ラメータ(「優先サーバ:Prefferd Server」、「優先ツリー:Prefferd Tree」、「ネームコンテキ スト:Name Context」、「最初のネットワークドライブ:First Network Drive」)に相当します。
- c. [ログイン]タブをクリックしてください。

Novell NetWare Client 32のプロペティ 🧧	'×
Client 32 ログイン デフォルトキャブチャ 詳細設定	
 ✓ 接続ベージの表示(N) ☞ ッリーへのログイン(T) ☞ サーベへのログイン(S) □ パインタリ接続(目) ☑ 現在の接続のクリア(L) 	
マスクリフトへ、ーシ、の表示(!) ロク・インスクリフト(©):	
▼ スクリノト結果を目動的に閉じる(①) ▼ スクリノトの美行(型)	
□ 変数ベージの表示(D) %2(2): %3(3): %3(3): %4(4): %5(5): %5(5): %	
□□り、小終了時に設定を保存(型)	
OK ++>セル	

d. 変更したい項目をクリックして、チェックマークをつけてから、[OK]をクリックしてください。

参考事項

1. デフォルトは全て無効ですが「接続ページの表示(N)」、「スクリプトページの表示(I)」、「変数ページの表示(D)」を有効にすることで各項目のオプションを設定できます。

(1).接続ページの表示(N)	GUIログインの実行時にログイン先を変更できます。	
(2).現在の接続のクリア(L)	GUIログインの実行時に既存のネットワークドライブマッピングを解 除することができます。((1)を有効後のデフォルトは、[v]です。)	
(3).スクリプトページの表示(I)	GUIログイン実行時にログインスクリプトを選択することができます。	
(4).スクリプト結果を自動的に閉じる(O)	ログインスクリプト実行後、自動的にログインスクリプト画面を閉じ ることができます。((3)を有効後のデフォルトは、[v]です。)	
(5).スクリプトの実行	ログインスクリプトをするのかしないのかが選択できます。((3)を有 効後のデフォルトは、[v]です。)	
(6).変数ページの表示	GUIログインの実行時にログインスクリプトの変数を指定することがで きます。	
(7).ログイン終了時に設定を保存	設定を保存することができます。(デフォルトは、[v]です。)	

2. ログインスクリプトに関しては「スーパバイザガイド(NetWare 4.1J)」または「インストールガイド (NetWare 3.12J)」をご参照ください。

2g. ディスクの挿入要求が表示されます。



Windows 95 CD-ROM(または FD)をドライブに挿入後、[OK]をクリックしてください。

2h. PCの再起動要求の画面が表示されます。

NetWare Client 32 インストール
NetWare, Client 32 Installation
NetWare Client 32が自動的にインストールされ、環境設定されます。インストールを完了する ICIは、次のどれかを実行してください:
◆ デフォルト設定を使用してインストールを完了するには、 [リブート]をクリックしてください
◆ ネットワークコンポーネントを追加するかデフォルト設定を変更するには、[カスタマイズ] をクリックしてください
◆ ワークステーションをリブート せずにインストールを終了するには、[Windowsに戻る]を クリックしてください
注意:新しい設定を有効にするには、コンピュータをリブートする必要があります
<u>リフ[*]ート(R)</u> Windowslこ戻る(<u>W</u>)カスタマイス [*] (<u>C</u>) ヘルフ [*] (<u>H</u>)

[リブート(R)]をクリックしてください。これでインストールは完了です。

- 参考: [カスタマイズ(C)]を選択することによりネットワークプロパティの変更が可能です。変更する 必要がない場合は、リブートしてください。参考にカスタマイズを選択した場合に表示されるネ ットワークプロパティを「2i.」でリストします。また、リブート後にネットワークプロパティを 変更する場合は「コントロールパネル」から「ネットワーク」を選択してください。
- 21. インストール後のネットワークプロパティ一覧

「現在のネットワーク構成(N):」から設定したい項目をハイライト後、「プロパティ(P)」をクリックし てください。

32bit ODI LAN ドライバを選択した例	32bit NDIS LAN ドライバを選択した例
	たパワークの設定 ユーザー情報 現在のネッけワーク構成(い): 現在のネッけワーク構成(い): 第 Novell NetWare Client 32 アレンドングランド 第 NE2COD Plus アレンドングランド 第 NE2COD Plus アレンドングランド 第 NE2COL Plus アレンドングランド 第 ロックオンクション アロハアパクシン 優先的にロジオンする Novell NetWare Client 32 アイルとフリン外の共有(を) 説明 のK キャンセル
ネットワーク構成	ネットワーク構成
Novell NetWare Client 32	Novell NetWare Client 32
Novell NE2000 Plus	NE2000 Plus
Novell ODINSUP	IPX 32-bit Protocol for NetWare Client 32
IPX 32-bit Protocol for Novell Client32 → Novell NE2000 Plus	IPX/SPX互換プロトコル
IPX 32-bit Protocol for Novell Client32 \rightarrow Novell ODINSUP	
IPX/SPX互換プロトコル → Novell ODINSUP	

3. NetWare/IPクライアントのインストール

NetWare/IP クライアントをインストールする前に Windows 95 CD-ROM(または FD)と Client 32 CD-ROM(ま たは FD)をご用意ください。

3a. Microsoft TCP/IPの設定

a.「コントロールパネル」より「ネットワーク」を起動してください。

አットワーク ?	x		
ネットワークの設定 ユーザー情報 アクセス権の管理			
現在のネットワーク構成(N):			
■ Microsoft ネットワーク クライアント ■ Novell NetWare Client 32 ■ NE2000 Compatible ■ Novell ODINSUP			
PX 32-bit Protocol for Novell NetWare Client 32 → Nove			
追加公 削除 <u>R</u>) 7口バティ(P)			
優先的にログオンする			
Novell NetWare Client 32			
ファイルとフリンタの 共有(E)			
- 説明			
OK キャンセル			

b. [追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワーク構成ファイルの追加」メニューが表示され ます。

ネットワーク構成ファイルの追加	? ×
インストールするネットワーク構成ファイル:	
 ■ クライアント ■ アタ[*] フ[*] タ 3^{**} フ[*] ロトコル 	追加(<u>A</u>) キャンセル
₽ ₩-±°λ	
プロトコルはコンビュータが通信するための言語です。 通 信する複数のコンビュータは、同じプロトコルを使用しま す。	

c. [プロトコル]をハイライト後、[追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワークプロトコ ルの選択」画面が表示されます。

ネットワーク ブロトコルの 選択	×
インストールするネットワーク ブロトコルをクリックして、[OK] を押してください。 この デバイスのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] を押してください。	
製造元(<u>M</u>): ネットワーク プロトコル :	
著 Banyan Digital Equipment(D IBM Microsoft DLC Novell SunSoft ▼	
ок	

- d. [Microsoft]をハイライトして[TCP/IP]を選択後、[OK]をクリックしてください。
- e. 以下の TCP/IP のプロパティ設定を行ってください。
 - ・ IP アドレスの設定
 - サブネットマスクの設定
 ゲートウェイの設定

 - ・ DNSの設定
 - 参考: ネットワークに合わせて TCP/IP プロトコルのプロパティ設定を行ってください。ネットワーク 上に NetWare/IP サーバ以外に DHCP サーバが構築されている場合は IP アドレス、サブネットマ スク、ゲートウェイの設定を省略することができます。
- 3b. Novell NetWare/IP Protocolの設定
 - a. 「コントロールパネル」より「ネットワーク」を表示してください。

۸ットワーク ؟ ×
ネットワークの設定 ユーザー情報 アクセス権の管理
現 <i>大の</i> う…ししカ堪応(い)
現1日のネットワーク1番成100. ■ Microsoft ネットワーク クライアント
Sover Novell NetWare Client 32
Reveal ODINSUP
FIPX 32-bit Protocol for Novell NetWare Client 32 -> NE2C
<u>追加(A)</u> 削除(B) <u>7口//ティ(P)</u>
優先的にログオンする
Novell NetWare Client 32
ファイルとフリンタの共有(E)
ок + еури

b. [追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワーク構成ファイルの追加」メニューが表示されま す。

ネットワーク構成ファイルの追加	? ×
インストールするネットワーク構成ファイル:	
🔜 クライアント	追加(<u>A</u>)
■ ₽ 79 [°] 7° 9	+++`1111
プロトコルはコンビュータが通信するための言語です。 通 信する複数のコンビュータは、同じプロトコルを使用しま す。	

c. [プロトコル]をハイライト後、[追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワークプロトコ ルの選択」画面が表示されます。

ネットワーク プロトコルの 選択 インストールするネットワーク : デ゙パイスのインストール デ	× プロトコルをクリックして、[0K] を押してください。 この ィスクがある場合は、[ディスク使用] を押してください。
製造元(<u>M</u>):	ネットワーク フ [*] ロトコル :
) i Banyan I Digital Equipment (C	≨ IPX 32-bit Protocol for Novell NetWare Cli∉ ≩ Novell IPX ODI Protocol
iBM Microsoft	Y Novell NetWare/IP Protocol
Vovell SunSoft	
	0K ++>>セル

- d. [Novell]をハイライト後、[Novell NetWare/IP Protocol]を選択してください。
 - 「現在のネットワーク構成(N)」で「Novell NetWare/IP →TCP/IP」のプロパティが登録され設 定可能になり IPの環境設定を行うことができます。 参考:
- e. 以下の NetWare/IP 環境のプロパティ設定を行ってください。
 - ・ NetWare/IPドメイン名の設定 ・ 優先 NetWare/IP サーバの設定 ・ 優先 DSS サーバの設定

 - 注意: NetWare/IP使用時は、「IPX 32-bit Protocol for Novell NetWare Client 32」のプロパティ 画面にある「高度な IPX設定」でのフレームタイプを指定しないでください。すなわち設定と しては「検出されたフレームタイプをすべて使用」が選択されている必要があります。

第2章 ログインと使用方法

1. ログイン方法

Windows 95の起動時に GUI ログイン画面が表示されます。

📲 Novell NetWare Login	×
NetWare	
■● ロケィン(L) 接続(C) スクリフ [*] ト(S)	
、 次のNetWareサーバ (こログ インします:	ОК +р>tлl
- NOVELLAA	<u></u>
ロク 12名(<u>N</u>): jaunin パプワート [*] (P): *****	

- 1a. 「ログイン名(N):」に「ユーザ名」を入力してください。
- 1b. 「パスワード(P):」に「ユーザパスワード」を入力後、[OK]をクリックしてください。
 - 参考: Windows 95の起動後でも GUI ログインは可能です。下の画面を参照の上、「スタート」メニュー から起動してください。(Client 32のインストールにより自動的に GUI ログインユーティリティ は「スタートメニュー」に追加されます。)



2. NDS ツリーや NetWare サーバの検索

GUIログイン画面の「接続(C)」タブをクリックすると NDS ツリーや NetWare サーバの自動検索が行えます。

📲 Novell NetWare Login			×
11	NetWare		
•			
ロゲイン(し)	接続(<u>C</u>)	<i>⊼ሳ</i> リフឺኑ(<u>S</u>)	
● "IJ-(<u>T</u>): <	EFERRED> NOVELL4A	•	
0 Ħ-バ(<u>E</u>): <	EFERRED> NOVELL4A		キャンセル
□ /\	゛インタ゛リ接続(<u>B</u>)		∿レプ(<u>H</u>)
コンテキスト(<u>O</u>): <pr< td=""><td>EFERRED></td><td>•</td><td></td></pr<>	EFERRED>	•	
■ 現在の接続を	を解除する(<u>C</u>)		

「ツリー(T)」や「サーバ(E)」の右側のボタンを押すことにより検索することができます。 注意: この画面は[接続ページの表示(N)]が選択されていないと表示できません。

3. ログインスクリプトの設定

GUI ログイン画面の「スクリプト(S)」をクリックすると実行するログインスクリプトの設定が行えます。

😹 Novell NetWare Login	×
NetWar	e
■● ●	(<u>c)</u> አንካንኙ(<u>s</u>) (CK
ロク [*] インスクリプト(<u>O</u>): <u>(DEFAULT)</u> プロファイルスクリプト(<u>P</u>): (DEFAULT) I スクリプトの実行(<u>R</u>) I スクリプト結果を自動的(こクロー)	・ ボする(<u>S</u>) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、

- 注意: この画面は[スクリプトページの表示(I)]が選択されていないと表示できません。また、ログイ ンスクリプトに関しては「スーパバイザガイド(NetWare 4.1J)」または「インストールガイド(Ne tWare 3.12J)」をご参照ください。
- 4. 複数の NDS ツリーへの同時アクセス

Client 32では、従来の VLMクライアントとは異なり、複数のツリーに同時にログインすることが可能で どちらのリソースも同時にアクセス可能です。

4a. ログインしたいツリーの指定



- a. 「エクスプローラ」またはデスクトップの「ネットワークコンピュータ」から「ネットワーク全体」 の「NetWareディレクトリサービス」を選択し NDSツリーを表示してください。
- b. ログインしていない NDS ツリーのアイコンをハイライト後、右クリックしてください。
- c. [認証(A)...]を選択してください。
- 注意: 自動でログインスクリプトを実行するように設定されている場合、 [NDS ツリーへのログイン (T)...]を選択するとドライブの再マッピングが行われます。既に NDS ツリーにログインしてい て、別の NDS ツリーにもログインする場合、アタッチするだけでログインスクリプトが実行され ない [認証(A)...]を選択してください。

4b. GUIログイン画面が表示されます。

🗱 Novell NetWare Login	×
NetWare	
次のNetWareサ-バ(こログ゙インします: ^愛 NOVELI4B	OK
ログ [×] イン名(N):admin	キャンセル
	∿レフ°(<u>H</u>)

- a. 「ログイン(N)」に「ユーザ名」を入力してください。
- b. 「パスワード(P)」に「ユーザパスワード」を入力後、[OK]をクリックしてください。
- 4c. NetWareサーバへのアタッチ状況の確認

77 I.L.	-9
ネットワー コノヒョー	時へ(の) エクスフローラ(E)
凌 ごみ箱	コンピュータの 検索(P) NetWare 装読(W) ネットワーク ドライブの 割り 当て(W) ネットワーク ドライブの 切断(Q)
	ショートカットの作成(<u>S</u>) 名前の変更(<u>M</u>) ブロバティ(<u>R</u>)

a. デスクトップの「ネットワークコンピュータ」をハイライトし右クリックしてください。

b. [NetWare接続(W)]を選択してください。

4d. アタッチ先が表示されます(この画面は2つツリーに同時にログインした例です)。

現在のNetWareリソース	ξ				? ×
Novell アタッチ先を	i次に示します:				
リソース	ユーザ名	Conn	タイプ	NDS%1-	
♥* NOVELL4A ♥ NOVELL4B ■* NOVELL4A ■ NOVELL4B	CN=Admin CN=Admin CN=Admin CN=Admin	2 2	ディレクトリサーヒ ディレクトリサーヒ	NOVELL4A NOVELL4B	
	K	接続	解除(<u>D</u>)	カレント	の変更(<u>C</u>)

- 参考: 「NOVELL4A(NDS ツリー)」と「NOVELL4A(サーバ)」にマークされている[*]はカレント NDS ツリー, カレントサーバであることを示してください。通常、Client 32のプロパティまたは GUI ログイン で指定したツリーやサーバになります。
- 5. ドライブマッピング方法

ここでは、サーバ「NOVELL4A」の[SYS]ボリュームをマッピングする手順を通して、ネットワークボリ ューム(ディレクトリ)の指定方法を説明します。

📙 Novell	4a	_ 🗆 ×
771N(E)	編集(E) 表示(V) ヘルフ℃H)	
SYS	閉く(<u>O</u>) エクスプローラ(<u>E</u>)	
	ネットワーク ト・ライブの 割り当て(<u>M</u>)	
	ショートカットの 作成(<u>S</u>)	
 ネットワーク	ブロベティ(<u>R</u>)	

- 5a. 「エクスプローラ」またはデスクトップの「ネットワークコンピュータ」を実行し、サーバ一覧を表示後、 該当サーバをダブルクリックしてボリュームを表示させます。
- 5b. [SYS]ボリュームのアイコンをハイライトしてください。
- 5c. 右クリック後、「ネットワークドライブの割り当て(M)...」を選択してください。「ネットワークドライ ブの割り当て」画面が表示されます。

ネットワーク ト・ライブの	割り当て	? ×
ト [*] ライブ*(<u>D</u>):		ОК
∧°ス(<u>P</u>):	¥¥Novell4a¥SYS	キャンセル
	▶ ロゲオン時に再接続(工)	

5d. 「ドライブ(D):」の右側のボタンを押し、プルダウンメニューからドライブを選択します。

- 5e. [OK]をクリックしてください。
 - 参考: 以後、Windows 95の起動時から自動的にドライブマッピングを復元させたい場合は、「ログオン時に再接続(T)」の左側のチェックボックスを有効にしてください。
- 6. プリンタ設定
- 6a. デスクトップの「マイコンピュータ」を表示してください。



- 6b. 「プリンタ」アイコンをダブルクリックしてください。
- 6c. 「プリンタ」が表示されます。



6d. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタウィザード」が表示されます。

ጋግሥያ ዕィザート	
	フリンタオ どこに接続されていますか? フリンタがコンピュータに直接つながっている場合は [ローカル フリンタ] を、それ以外の場合は [ネットワーク フリンタ] を選んでく ださい。 ○ ローカル フリンダ(L) ⓒ ネットワーク フリンダ(N)
	< 戻る(日) 次へ > キャンセル

6e. [ネットワークプリンタ(N)]を選択後、[次へ 〉]をクリックしてください。「プリンタキュー」を参照するメニューが表示されます。

ጋግሥቃ ዕィザート	
	ネットワーク バスまたは印刷キュー名を入力してください。 わ からない場合は [参照] を押して利用できるフリンタを調べ てください。 ネットワーク バスまたは印刷キュー(P): MS-DOS 77リケーションから印刷しますか? ○ はい(Y) ⓒ いいえ(N)
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

- 6f. [参照(R)]をクリックしてください。「プリンタの参照」メニューが表示されます。
 - 参考: ネットワークプリンタを使用する場合、NetWareサーバ側でプリントキューやプリンタなどのプリ ント環境の設定が完了していることが前提です。

2 リンタの参照	? ×
追加するネットワーク フリンタを選んでください。 ヒント: フリンタは通常コンビュータに接続されています。	
□	
OK ‡ †	VEN

6g. 使用するプリントキューを選択してください。プリンタタイプを選択するメニューが表示されます。

ጋግሥጵ ዕィザート			
7リンタの製造元とモデルを選んでください。フリンタにインストール ディスクが付いている 場合は、「ディスク使用」を押してください。フリンタが一覧にない場合は、フリンタの マニュアルを参照して互換性のあるフリンタを選んでください。			
製造元(<u>M</u>): Fuji Xerox FUJITSU HP IBM KODAK KYOCERA Linotype-Hell	7リンダ史): HP LaserJet 4ML HP LaserJet 4ML PostScript HP LaserJet 4PJ HP LaserJet 4LJ Pro HP LaserJet 4MP HP LaserJet 4MP HP LaserJet 4P/4MP PostScript		
	〈 戻る(日) 次へ 〉 キャンセル		

- ここでは、「HP LaserJet 4PJ」プリンタを使用した例を説明します。
- a. 製造元(M)に[HP]を選択してください。
- b. プリンタ(P)に[HP LaserJet 4PJ]を選択後、[次へ >]をクリックしてください。「プリンタ名」 を入力する画面が表示されます。

ጋግሥቃ ዕィザート	
	フリンタに名前を付けられます。または、次の名前を使っ てください。名前を決めたら、[完了] を押してください。 フリンタをインストールして、フリンタ フォルダに追加します。
	フリンタ名(Ⴒ): HP LaserJet 4PJ
	' Windows アブリケーションでは、このブリンタを通常のブリンタとして 使います。
	〈 戻る(8) 完了 キャンセル

- c. 表示される「プリンタ名(P)」を確認し、[完了]をクリックしてください。これでプリンタの設定は 完了です。
- 参考: NDSプリントキューについて

NDSのプリントキューは「プリンタの追加」ウィザードのブラウズダイアログボックスのなかには 表示されません。NDSプリントキューへのプリント環境設定するためには「ネットワークコンピュ ータ」か「エクスプローラ」を使用してキューを見つけてください。プリントキューアイコンを ダブルクリックして「プリンタ追加」ウィザードを使用することによりそのプリンタを設定する ことができます。

また、プリンタウィザードの「プリンタ参照」で直接 NDS プリントキューを表示させたい場合は、 Microsoft 社から Windows 95 ブラウズダイアログボックスの中で NDS プリントキューを表示する モジュール(SHELLUPD.EXE)が公表されていますので次のインターネットサイトからダウンロード してください。

http://www.microsoft.co.jp/win95/modules/module.htm (1996年3月28日現在)

第3章 サーバ側のロングネームサポート

Client 32に含まれているロングネームサポート用モジュールを NetWare サーバに追加する手順を説明し ます。

- 1. NetWare 4.1Jサーバ
- クライアントを利用して、サーバに管理者(Admin)または同等者としてログインして、Client 32の CD-RO Mまたはフロッピーディスク(ADMIN1)から以下のファイルをサーバの NetWare パーティションにコピー してください。
 - ・ ファイル名:

「PM410.NLM」、「NSWILDFX.NLM」

・ コピー元のパス:

フロッピーディスクからインストールする場合(「ADMIN1」フロッピーディスク):

[フロッピードライブ]:\PATCHES\NW410\

クライアントが IBM PC/AT互換機で CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\DOSV\ADMIN\PATCHES\NW410\

クライアントが NEC PC-9800シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\98\ADMIN\PATCHES\NW410\

・ コピー先パス:

サーバの「SYS:\SYSYTEM\」

- 参考: PM410.NLM … Patch Manager for NetWare v4.10(960122) NSWILDFX.NLM … 410 patch to fix wild card use with Name Spaces(951007)
- 1b. ロングネームをサポートするためにサーバコンソールより以下の NLMをロードします。



1c. ボリュームにネームスペースを追加するためのコマンドを実行してください。

ADD NAME SPACE OS2 TO <ポリューム名> <ENTER>

1d. サーバコンソールから INSTALL.NLM をロードして「AUTOEXEC.NCF」ファイルを編集してください。



以上でサーバの設定は完了です。設定確認のためサーバの再起動をお奨めしてください。

2. NetWare 3.12Jサーバ

- 2a. クライアントを利用して、サーバに管理者(Supervisor)または同等者としてログインして、Client 32の CD-ROMまたはフロッピーディスク(ADMIN1)から以下のファイルをサーバの NetWare パーティションにコ ピーしてください。
 - ・ ファイル名:

「OS2.NAM」、「V_OS2.NLM」、「312OS2NM.TXT」

・ コピー元のパス:

フロッピーディスクからインストールする場合(「ADMIN1」フロッピーディスク):

[フロッピードライブ]:\PATCHES\NW312\

クライアントが IBM PC/AT互換機で CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\DOSV\ADMIN\PATCHES\NW312\

クライアントが NEC PC-9800シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\98\ADMIN\PATCHES\NW312\

・ コピー先パス:

NetWare 3.12Jサーバの「SYS:\SYSTEM\」とサーバのブートディレクトリ「C:\SERVER.312\(デフォルト)」にコピーしてください。

2b. サーバコンソール上から次のコマンドを実行してください。

LOAD OS2.NAM<ENTER>

ADD NAME SPACE OS2 TO <ボリューム名> <ENTER>

第4章NetWare Application ManagerとNetWare Application Launcher

NetWare Application Manager(以下 NAM)とはネットワーク上のアプリケーションを管理するユーティリティです。NDSによってアプリケーションソフトウェアを管理することでユーザ、グル—プ単位で使用できるアプリケーションを制限することやアプリケーションの自動起動などが行えます。またユーザはドライブマッピングやファイルを意識することなく、アプリケーションの実行が可能になります。

NetWare Application Manager (NAM) : 管理者用ユーティリティ NetWare Application Launcher (NAL) : ユーザ用ユーティリティ

- 1. アプリケーションの登録ならびにユーザへの割り当て(NAM)
- 1a. クライアントを利用して、サーバに管理者(Admin)または同等者としてログインして、Client 32のCD-ROMまたはフロッピーディスク(ADMIN1、ADMIN2)から以下のクライアント用 NAM モジュールを NetWare 4.1Jサーバの NetWare パーティションにコピーしてください。
 - ・ コピー元のパス:

フロッピーディスクからインストールする場合(「ADMIN1」および「ADMIN2」フロッピーディスク):

[フロッピードライブ]:\NAM\

クライアントが IBM PC/AT互換機で CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\DOSV\ADMIN\NAM\

クライアントが NEC PC-9800シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

[CD-ROMドライブ]:\98\ADMIN\NAM\

・ コピー先パス:

上記のディレクトリ内の全てのサブディレクトリとファイルをサーバの「SYS:\PUBLIC\」ディレクト リにコピーしてください。

- 1b. エディタで「C:\WINDOWS\NWADMIN.INI」ファイルをオープンしてください。
 - 注意: このファイルは、NWAdmin(SYS:PUBLIC\NWADMIN.EXE)を起動することにより自動的に生成されま す。設定するクライアント PC上で以前に一度も NWAdminを起動していない場合は起動してくださ い。

次の2行を追加してください(ドライブ名「Z」は、マッピング環境に合わせて変更してください)。

[Snapin Object DLLs] SNAPIN1 = Z:\PUBLIC\APPSNAP.DLL

- 注意: [Snapin Object DLLs]セクションが既に存在する場合は、「SNAPIN1 = Z:\PUBLIC\APPSNAP.DLL」 のみをセクション下に入力してください。また、既に「SNAPIN1」が登録されている場合は、「重 複しない名称」を設定してください。(ここでは「SNAPIN1」を設定しましたが任意の名称も使用 できます。)
- 1c. 「NWADMIN.EXE」を起動してください。次のメッセージが表示されます。

※日 アプリケーションスナップイン ×
NDSスキーマにはアプリケーションクラスの最新の変 更が加えられていません。このスキーマを更新しま すか?
<u>(はい(Y)</u> いいえ(<u>N</u>) ^ル7°

- 1d. NDSスキーマを更新する必要があるため、必ず「はい(Y)」を選択してください。
- 1e. コンテキストにアプリケーションオブジェクトを作成してください。

.	選択しているコン	テナオブジェ	外の下	(こオフ゛シ	``ı7rð □ ×
	オブジェクト(<u>O</u>) 表示(⊻)	オフ [°] ション(<u>P</u>)	<u>ッール(T)</u>	ウィンドウ	(<u>W</u>)
~//	作成(<u>C</u>)	Ins			_ & ×
	詳細(工)	Enter			
-1	権利の設定(<u>R</u>)…				
-4	トラスティ割り当((<u>U</u>) 移動(M)	F7			
-4	⊐Ľ −(<u>P</u>)	F8			
-4	リネーム(<u>N</u>)				
	削除(<u>D</u>)	Del			
	ユーザテンプレート(<u>S</u>).				
<u> </u>	ワーナ(<u>H</u>)				
	印刷(<u>P</u>)	Ctrl+P			
-	フリンタの設定(5)…				
	終了(※)		J		
	1				

1f. [オブジェクト(O)]をクリック後、[作成(C)]を選択してください。新しいオブジェクトクラスが表示 されます。

新しいオブジェクトクラス	×
ヘ°アレント: NOVELL4A	
オフ [、] シ [、] ェクトクラス(<u>C</u>): ■ AFPサーハ [、] ■ Application (DOS) ■ Application (Windows 3.x)	
 Application (Windows 95) ■ Application (Windows NT) ■ NetWareサーバ ● クドルーフ° ■ コンビュータ ■ モディルクトリマッフ° 	T
OK キャンセル コンテキスト(<u>0</u>) ヘルフ°	(<u>H</u>)

1g. [Application(Windows 95)]を選択後、[OK]をクリックしてください。「アプリケーションの作成」 画面が表示されます。

🦉 アプリケーションの作成 💦 🔀	:
アプリケーションオブジェクト名(<u>N</u>):	
NetWare Administrator	
実行可能ファイルへのパス(<u>P</u>):	
¥¥NOVELL4A¥SYS¥PUBLIC¥NWADMIN. EXE	
☑作成後に詳細を設定(፬)	
■別のアプリケーションを作成(<u>A</u>)	
作成(<u>C</u>) キャンセル ヘルフ°	

- ここでは、「NetWare Administrator(NWADMIN.EXE)」を登録する例を説明します。
- a. アプリケーションオブジェクト名を入力してください。
- b. 「NWADMIN.EXE」ファイルが存在するパスを右側のボタンを押すことによりサーバのボリュームオブジェクトが表示されますのでファイルのパスを検索後、指定してください。
- c. 「作成後に詳細を設定(D)」をクリックして、チェックマークをつけてから、「作成(C)」をクリック してください。
- 1h. ユーザオブジェクトにアプリケーション割り当てを行います。「アプリケーションオブジェクトの詳細」 が表示されます。

Application (Windows 95):NetWare Administrator	×
アプリケーション割り当て	識別
このアプリケーションを使用できるオブジェクト(<u>0</u>)	環境
	۲°5{7°/#*~۲
	[說 B月
	₹7972°
	連絡
	7プリケーション割り当て
追加(<u>A</u>) 削除(<u>D</u>)	
0K キャンセル ヘルフ°	

- a. 右側の[アプリケーション割り当て]をクリックしてください。
- b. 追加(A)のボタンを押し、「オブジェクトの選択」を表示させます。

オブジェクトの 選択	×
選択したオブジェクト(<u>S</u>): YOKABE カレントコンテキスト: NOVELL4A	
名前フィルタ(<u>N</u>): 	ディレクトリコンテキストフィルタ(<u>E</u>):
Admin Admin KTANAKA NYOKOYAMA	1
▲ YOKABE	
OK キャンセル コンテキストの)変更(<u>C</u>) へルプ(<u>H</u>)

c. アプリケーションを割り当てるユーザを選択後、[OK]を押してください。「アプリンケーションオ ブジェクトの詳細」が表示されます。

Application (Windows 95):NetWare Administrator	×
アプリケーション割り当て	識別
このアプリケーションを使用できるオブジェクト(<u>0</u>)	環境
TUNADE. NUVELLAA	۲°۶۲٦°∕#°∽۲
	説明
	₹7,662
	連絡
	アプリケーション割り当て
追加(A) 削除(D)	
ОК + +>th ^h/7°	

d. アプリケーション割り当てされたユーザが表示されます。[OK]をクリックしてください。

注意事項

1. アプリケーションを割り当てたユーザにはアプリケーションの実行ファイルが存在するディレクトリ へのトラスティ権利を与えてください。もし与えていない場合、NAL 実行時にアプリケーションが使用 できない場合があります。

- 2. NetWare Application Managerは同等トラスティなどの間接的な権利は継承されません。例えば、ユーザ「NYOKOYAMA」がユーザ「ADMIN」と同等の権利を持っていたとしてもユーザ「ADMIN」にのみ割り当てられたアプリケーションはユーザ「NYOKOYAMA」には実行できません。
- 1i. コンテキスト上に「NetWare Administrator」オブジェクトが作成されました。



参考: 同様に「Paint Shop Proのインストーラ」と「MS Office 95のインストーラ」のオブジェクトを 生成した例を次に示します。



- 注意: 通常は、サーバの NetWare ボリューム上に存在するアプリケーションのみをオブジェクトとして 登録してください。また、登録するアプリケーションがクライアントのローカルドライブ上に存 在する場合は、割り当てるユーザの各クライアントのドライブマッピング,ディレクトリ,ファイ ル構成が同一である必要があります。
- 2. ユーザ毎にアプリケーションを割り当てる場合の設定(NAM)

ここでは、ユーザ毎に実行するアプリケーションを割り当てる場合や、アプリケーションの自動実行を設 定する場合を説明します。既に「第4章の1.」にてアプリケーション作成時にユーザへの割り当てが完了 している場合はこの設定を省略することができます。

- 2a. アプリケーションオブジェクトへの割り当てをユーザ個別に設定してください。
 - a. ユーザのオブジェクトが存在するコンテキストを表示してください。

🐺 選択しているオブジェクトのプロパティを設定しま	⊐×
_オブジェクト(Q) 表示(V) オブション(P) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(E	Ð
💽 NOVELL4A	1 ×
蟲 NOVELL4A	
⊨∎ NOVELL4A	
⊢ <mark>≜</mark> Admin	
- ▲ KIANAKA 詳細(I)	
with the second	

b. 対象のユーザオブジェクトをハイライトし右クリック後、[詳細(T)]を選択してください。ユーザの 詳細情報が表示されます。

Iーザ: KTANAKA	×
アプリケーション ザ(こよる起動(L):	不正侵入者ロックアウト
	ファイルノテドィレクトリの権利
	<u></u>
	同等をキュリティ
	住所
	アカウントバッランス
自動的に起動(U):	参照
	アファリケージョン
追加(_) 削除(_)	起動プログラムの環境設定
ОК ++>t/ ^//7°	<u> </u>

- c. 右側の下から2番目の[アプリケーション]をクリックしてください。
- d. 「ユーザによる起動(L):」の[追加(A)...]をクリックしてください。

参考事項

- 1. 「ユーザによる起動(U):」はユーザログイン後、いつでも登録されたアプリケーションが使用でき るようになります。これは「第4章の1.」で設定されたアプリケーションの割り当てと同一です。 「Windows3.1」に例えると「アイコン登録」に似ています。
- 2. 「自動的に起動(D)...」はユーザが「NAL.EXE」を起動すると、登録されたアプリケーションが即座 に実行されます。これは「ユーザによる起動(U)」と違い、このメニューでのみ設定可能です。「Wi ndows3.1」に例えると「スタートアップ登録」に似ています。
- e. オブジェクトの選択画面が表示されます。

オブジェクトの選択	×
選択したオフ ^{゙ジ} ェクト(<u>S</u>): MS_OFFICE_SETUP カレントコンテキスト: NOVELL4A	
名前フィルタ(<u>N</u>): オブジェクト(<u>Q</u>): <mark>図 MS OFFICE SETUP</mark> 図 NetWare Administrator ③ Paint Shop Pro SETUP	<i>π</i> [*] ィレクトリコンテキストワイルタ(<u>E</u>): <i>π</i> [*] ィレクトリコンテキスト(<u>D</u>): <i>π</i> [*]
OK キャンセル コンテキストの	⊃変更(<u>c</u>) へルプ(<u>H</u>)

- f.「オブジェクト(O)」よりアプリケーションオブジェクトを選択後、[OK]をクリックしてください。
- g. ユーザの詳細情報「アプリケーション」の登録を確認してください。

コーザ [®] : KTANAKA	×
アフ [°] リケーション	不正侵入者ロックアクト
MS OFFICE SETUP. NOVELL4A	ファイルノテ゛ィレクトリの権利
	<u></u> カ*⊮-フ*メンハ*-シッフ*
	同等セキュリティ
	住所
追加(A) 削除(E)	7カウントハッウンス
	参照
	アフ*リケージョン
追加(<u>D</u>) 削除(<u>L</u>)	起動プログラムの環境設定
ΟΚ +ν>セル ^μ7°	

- h. 「ユーザによる起動(L):」にアプリケーションが登録されたことを確認してください。
- 注意: アプリケーションを割り当てたユーザにはアプリケーションの実行ファイルが存在するディレク トリのトラスティ権利を与えてください。もし与えていない場合、NAL 実行時にアプリケーション が使用できない場合があります。

- 2b. 前項と同様に各ユーザにアプリケーション割り当てを指定してください。
 - 例 1. 3つのアプリケーションを「ユーザによる起動(L)」に設定した例

ニューザ : NYOKOYAMA	×
アプリケーション ユーザ(こよる起動(<u>L</u>): MS OFFICE SETUP.NOVELL4A NetWare Administrator.NOVELL4A Paint Shop Pro SETUP.NOVELL4A	 不正侵入者ロックアクト ファイル/ ディレクトリの権利 ク*ルーフ*メンパ*ージッフ* 同等セキュリティ
<u>追加(A)</u> 自動的に起動(U):	住所 アカウントハ [、] ランス 参照
<u>追加(D)</u> のK キャンセル ヘルフ [°]	77°9ケ-9ョン 起動プログラムの環境設定

この例ではユーザ「NYOKOYAMA」に「NetWare Administrator」,「MS OFFICE SETUP」と「Paint Sho p Pro SETUP」を「ユーザによる起動(L):」として与えています。

例2. アプリケーションを「自動的に起動(U)」に設定した例

コーザ:YOKABE	×
アプリケーション ザ(こよる記動(L)・	不正侵入者ロックアクト
	ファイル/ ディレクトツの権利
	<u>り*</u> ルーフ*メンバ*ージッフ*
	同等セキュリティ
	住所
	アカウントハドランス
自動的に起動(U):	参照
NetWare Administrator.NOVELL4A	アフ*リケーション
	起動プログラムの環境設定
	•
OK キャンセル ヘルフ°	

この例では、ユーザ「YOKABE」に「NetWare Administrator」を「自動的に起動(U):」として与えて います。

注意: NetWare Application Managerは同等トラスティなどの間接的な権利は継承されません。例えば、 ユーザ「NYOKOYAMA」がユーザ「ADMIN」と同等セキュリティを持っていたとしてもユーザ「ADMI N」にのみ割り当てられたアプリケーションはユーザ「NYOKOYAMA」には実行できません。

- 3. アプリケーションの実行(NAL)
- 3a. 「フォルダの選択」画面を表示して「NAL.EXE」を Window95 のスタートアップフォルダにショートカット 登録してください。

フォルダの 選択
ショートカットを保存するフォルダを選んでください(S) ショートカットを保存するフォルダを選んでください(S) ショートカットを保存するフォルダを選んでください(S) スタート メニュー スタート メニュー Labello PC スタート メニュー Labello PC フログラム Paint Shop Pro フクセサリ システム ツール マルチメデ [*] ィア マルチメデ [*] ィア マ ル チメデ [*] ィア
< 戻る(日) 次へ > キャンセル

- a. 「次へ]」をクリックしてください。
- b. 「Z:\PUBLIC\NAL.EXE」を指定して登録してください(ここでは、「SYS:PUBLIC\」がZドライブにマッ ピングされてと仮定しています)。
- 3b. Windowsを再起動し、アプリケーション割り当てを設定したユーザでログインしてください。「NetWare A pplications Launcher.(ユーザ名).(コンテキスト)」メニューが表示されます。
 - 例1. 1つのアプリケーションにのみアプリケーション割り当てがあるユーザの例

🔢 NetWar	e Applicat	ion Launcher	: KTANAKA.NOVE	LL4A	_ 🗆 🗙
ファイル(<u>E</u>)	表示(⊻)	ヘルフ*(<u>H</u>)			
MS OFFI SETUP	DE				

例2. 3つのアプリケーションにアプリケーション割り当てがあるユーザの場合

🗽 NetWare A	pplication Laund	her: NYOKOY	AMA.NOVELL4A	_ 🗆 🗙
ファイル(<u>F</u>) 表	示(⊻) ヘルフ(円)			
MS OFFICE SETUP	NetWare Administrator	Paint Shop Pro SETUP		

アプリケーションに対してアプリケーション割り当てが全くない場合は下記のメッセージが表示されます。



- 参考: 「自動的に起動(U)」に登録されている場合、ログイン後、アプリケーションが自動的に起動され ます。
- 3c. アイコンをダブルクリックしてアプリケーションを起動してください。

以上